

5 手書き（筆写）の楷書字形と印刷文字字形の違いが、字体の違いに及ぶもの

現行の常用漢字表においては、従前のおり「印刷文字における現代の通用字体」が示され、削除した5字を除いて、昭和56年の常用漢字表の掲げた通用字体が全てそのまま継承された。

しかし、新たに常用漢字表に追加した196字については、特に印刷文字の字体の安定性を損なうことがないように、当用漢字字体表及び昭和56年の常用漢字表に準じた字体の整理を行うことはせず、原則として、当該の字種における一般の書籍での最も使用頻度の高い字体を採用することとした。その結果、平成12年の国語審議会答申「表外漢字字体表」が示した「印刷標準字体」と「人名用漢字」の字体を通用字体として掲げることとなった。（「曾」「瘦」「麵」については、印刷標準字体として「曾」「瘦」「麵」が掲出されていたが、常用漢字表では生活漢字としての側面を重視し、「簡易慣用字体」とされていた字体を採用した。）

このことにより、昭和56年から常用漢字表に掲出されていた通用字体との間で、「道／遡」「飲／餅」「臭／嗅」「歩／捗」「幣／蔽」などのように、同じ構成要素を持ちながら、印刷文字における字体上の差異があるものが生じた。

そして、こうした字体上の差異は、印刷文字と手書き文字との間にも影響し、印刷文字と手書き文字の習慣による字形との間の相違が、字体の違いにまで及ぶ場合が生じることとなった。その手当てとして、「(付)字体についての解説」において、これらの漢字を実際に手書きする際の参考となるよう、具体例が示されている。

以下に挙げるものは、常用漢字表の採用した通用字体と手書き文字におけるそれぞれの習慣の相違に基づく表し方の差が、字体（文字の骨組み）の違いに及ぶものである。左は手書きの楷書の習慣による字形の例、右は印刷文字である明朝体の字形に倣って書いたものであるが、手書きの楷書ではどちらの字形で書いても差し支えない。「手書きの楷書の習慣による例」に挙げたものの中には、現代において、実際に広く用いられているとは言い難いものもあり、明朝体に倣った字形の方が手書きする場合の字形としても一般的な場合がある。

なお、ここに挙げるものの中には、例えば、「煎」と「煎」のように「表外漢字字体表」（平成12年国語審議会答申）において、「表外漢字だけに適用されるデザイン差」として整理されていたものがある。ただし、それらの字形の違いは、辞書等において、多く字体の違いとして説明されていた。

平成22年に上記のような字種を常用漢字表に追加するに当たっては、例えば、「煎」における「煎」の字形を「デザイン差」として扱うと、昭和56年から常用漢字として掲げられていた字種の通用字体に影響が及び、「煎」から「灑」を除いた形と「前」とをデザイン差とみなす必要が生じるなど、辞書等の説明と一致しないことになりかねなかった。そこで、昭和56年からの常用漢字の通用字体に影響が及ぶことが懸念される場合には、辞書等の考え方も踏まえ、デザイン差という捉え方を改め、字体の違いに及ぶものとして整理を行っている。

(1) 方向に関する例

該当字種	手書きの楷書の習慣による例	明朝体の字形に倣った手書きの例
恣	恣 など	恣 など
煎	煎 など	煎 など
嘲	嘲 など	嘲 など
溺	溺 など	溺 溺 など
淫	淫 など	淫 など
隙	隙 など	隙 など
蔽	蔽 など	蔽 など

(2) 点画の簡略化に関する例

該当字種	手書きの楷書の習慣による例	明朝体の字形に倣った手書きの例
嗅	嗅 など	嗅 など
賭	賭 など	賭 など
箸	箸 など	箸 など
餌	餌 など	餌 など
餅	餅 など	餅 など
遡	遡 など	} ※
遜	遜 など	
謎	謎 など	} ※
葛	葛 など	
僅	僅 など	葛 など
箋	箋 など	僅 など
填	填 など	箋 など
頰	頰 など	填 など
		頰 など

※「遡」「遜」「謎」について、明朝体の字形に倣った手書きの例を示していないのは、常用漢字表が「」も手書きでは「」と同様に「」と書く」としていることに基づいたものである。日常生活における漢字使用においては、「」も「」も、手書き字形としては同じ「」の形で書くことが一般的である、という認識を社会全般に普及していく必要がある。

ただし、歴史的にも、手書きにおける点二つの「しんにゅう」の例は少なからず存在し、現在においても、例えば、戸籍に関する業務などでは、「」と「」が区別され、手書きでの記入に当たっても書き分けられるように、主に人名や固有名詞等に関わる場合など、「」（「」）と「」（「・」）の使い分けが行われることがある。点二つの「しんにゅう」の漢字を「・」のように書いたものも誤りとすべきではない。

(3) その他

該当字種	手書きの楷書の習慣による例	明朝体の字形に倣った手書きの例
彙	 など	 など
剥	 など	 など
詮	 など	 など
諭	 など	 など
惧	 など	 など
稽	 など	 など
抄	 など	 など